



*The Japanese
Society of
Toxicology*

**Vol. 45 No. 6
December 2020**

毒性学ニュース

Toxicology News

一般社団法人日本毒性学会

The Japanese Society of Toxicology

毒性学ニュース Contents

日本毒性学会からのお知らせ

| | |
|---------------------------------|-----|
| 学会貢献賞の創設、ならびに佐藤哲男賞の一部改訂のお知らせ | 95 |
| 日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第2報） | 96 |
| 第24回日本毒性学会基礎教育講習会 | 99 |
| 第23回日本毒性学会認定トキシコロジスト新規認定者 | 100 |
| 第48回日本毒性学会学術年会のご案内（第3報） | 101 |
| 医薬品毒性機序研究部会主催 第3回 医薬品毒性機序研究会 | 105 |
| 2021年度日本毒性学会特別賞候補者推薦要領 | 107 |
| 2021年度日本毒性学会学会賞候補者推薦要領 | 108 |
| 2021年度日本毒性学会奨励賞候補者推薦要領 | 108 |
| 2021年度日本毒性学会佐藤哲男賞（国際貢献賞）候補者推薦要領 | 109 |
| 2021年度日本毒性学会学会貢献賞候補者推薦要領 | 110 |
| 第47回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について | 111 |

毒性学ニュース索引（45巻）

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

学会貢献賞の創設，ならびに佐藤哲男賞の一部改訂のお知らせ

このたび日本毒性学会では，長年にわたり日本毒性学会の基盤的な活動を顕著に支えて来られた会員に対して感謝の意を表し，学会貢献賞を設けることといたしました。

また，学会貢献賞の創設にともない，佐藤哲男賞（学会貢献賞）につきましてはその授賞対象を国際的および学術的貢献に特化し，名称を佐藤哲男賞（国際貢献賞）とあらためるとともに，選考規程の一部改訂を行いました。両件は，12月3日開催の総務委員会ならびに12月9日開催の理事会にて承認され，ここにお知らせするものです。

学会貢献賞の候補者推薦要領（2021年度）および規程は110ページに，また，佐藤哲男賞（国際貢献賞）の候補者推薦要領（2021年度）および規程は109ページに掲載のとおりです。

| | |
|-----------|-------|
| 日本毒性学会理事長 | 菅野 純 |
| 総務委員長 | 高橋 祐次 |
| 学術広報委員長 | 兎玉 晃孝 |

日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第2報）

教育委員会の各種事業は下記の要領で実施する予定です。詳細は決まり次第、学会ホームページおよび毒性学ニュースでお知らせします。

なお、学会主催講習会は、トキシコロジーに関する知識（基礎知識）を幅広く学習する基礎教育講習会とトキシコロジストとしての知識をアップデート・ブラッシュアップする生涯教育講習会として位置付けすることを基本方針として開催いたします。

「第24回日本毒性学会基礎教育講習会」

本講習会はトキシコロジストの系統的な基礎教育あるいは再教育を目的としております。また、トキシコロジー全般にわたる理解を深めたいうで、日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験受験にお役立て下さい。講習は動画配信形式で行います。受講者の皆様には4月中旬にダウンロード方法をご案内いたします。

1. 日時

2021年4月下旬～認定トキシコロジスト試験前まで

2. 形式

WEB開催

3. 申込

1) 申込期間

2020年12月18日(金)～2021年2月12日(金)

2) 申込方法

当学会ホームページよりお申込下さい。

登録後、5日以内に次項の要領で受講料を納入下さい。

受講料入金の確認後、追って受講案内をお送りします。

3) 納入方法

ホームページよりお申込の上、下記銀行口座へお振込み下さい。

銀行：みずほ銀行

支店：麴町支店（021）

口座番号：普通 1348658

口座名義：一般社団法人日本毒性学会

*振込手数料はご負担ください。

*ご所属名でお振込みの際は、事務局までメールで受講者氏名（会員の方は会員番号）、所属、振込日、振込金額をご連絡下さい。

4) 受講料

一般会員：25,000円 学生会員：5,000円

非会員：30,000円 学生非会員：8,000円

認定トキシコロジスト：20,000円

*領収書につきましては、参加証と一緒に送付いたします。宛名のご指定がある場合は、申込時に入力下さい。

*キャンセルに伴う返金に関しては、講習会資料事前案内前に限り、対応します。事務局から案内後は納入済み受講料の返金は原則としていたしませんのでご了承下さい。

5) その他

*受講修了者には受講証明書を発行します。また、学生受講者（大学院生を含む）は出欠を確認したうえで受講認定証を発行いたします。

「第22回日本毒性学会生涯教育講習会」

本講習会では、学習フレームを、①トピック、②トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーとして実施しております。本年も同様のフレームで開催を予定しておりますので、是非、積極的なご参加をお待ちしております。

トピックスは、SOTの学術年会時に開催される教育コースから、2つのテーマを選び、新しい科学及び技術に関する最新のトピックスを学習する場としていきます。トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーでは、各種毒性反応について基礎メカニズムから社会的に最新の毒性学の話題を含め深く学習する場としていきます。また、学習テーマに関連する共通知識として「非病理学者のための病理学講義」をセミナーに組み入れていきます。講習会資料はダウンロード形式としております。受講者の皆様には6

月中旬にダウンロード方法をご案内いたします。

1. 日 時

2021年7月10日(土)

2. 会 場

神戸国際会議場

3. プログラム(仮)

1) SOT2021 報告:

9:00~9:45

田邊 思帆里 先生(国立医薬品食品衛生研究所)
「Guidelines for Developing and Implementing Organ-on-a-Chip/Microphysiological Systems for Toxicity Evaluation of Drug Candidates in Drug Development」

9:45~10:30

吉川 理恵 先生

(Novartis Institutes for BioMedical Research)

「Navigating New Modalities: A Preclinical Roadmap for Developing Novel Oligonucleotide Safety Strategy」

(昼休憩 10:30~10:40)

2) トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナー:

“感染・免疫機能”

10:40~11:30

真木 一茂 先生

(独立行政法人 医薬品医療機器総合機構)

「ワクチン安全性評価の基礎と課題(仮)」

11:30~12:20

高橋 享子 先生(武庫川女子大学)

「食物アレルギーの解説(種類・メカニズム・検査法・臨床・治療)(仮)」

(休 憩 12:20~13:30)

13:30~14:20

小池 英子 先生

(国立研究開発法人 国立環境研究所)

「環境」(仮)

14:20~15:20

今岡 尚子 先生(第一三共株式会社)

「非病理学者のための病理学講義-免疫系の構造と毒性変化(仮)」

4. 参加費(1日フルコースとして設定)(予定)

事前申込

会 員 5,000 円

非会員 7,000 円

認定トキシコロジスト 3,000 円

当日申込

会 員 7,000 円

非会員 10,000 円

認定トキシコロジスト 5,000 円

「第24回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験」

我が国の安全性試験の信頼性向上とトキシコロジーの進歩に寄与するため、質の高い専門家を認定するための試験です。受験資格の詳細については、毒性学ニュース及び学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程』をご覧ください。日本語・英語いずれかの受験になります。英語受験を希望する場合は、願書の英語受験希望欄にチェックを入れてください。

1. 日 時(予定)

2021年9月26日(日)/予備日10月3日(日)

台風等の自然災害により9月26日に試験開催が困難であると判断した場合に、予備日に実施します。なお、試験開催を延期する場合には、2日前(9月24日17時)までに受験者へご連絡いたします。

2. 会 場(予定)

昭和大学 旗の台キャンパス

3. 受験料(予定)

30,000 円

「認定トキシコロジスト資格の更新」

2001年、2006年、2011年、2016年に認定トキシコロジストに認定された方となります。詳細は2020年12月頃にメールをお送りいたしますのでご確認ください。

毒性学ニュース、学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定資格』

更新に関する細則』をご覧ください。

「認定トキシコロジスト試験問題作成依頼について」

資格更新のための試験問題作成の依頼は6月上旬、締め切りは8月中旬を予定しています。なお、可能な限り、2018年5月発刊の「第3版トキシコロジー」からの出題をお願いいたします。その他、詳細につきましては、2020年6月にご案内いたします。

第24回日本毒性学会基礎教育講習会

| | 学 科 目 | 講 師 |
|------|--------------------------------|---|
| | オリエンテーション | 基礎講習会小委員会 委員長 |
| | 毒性学とは | 中西 剛 講師 (岐阜薬科大学薬学部) |
| | 毒性発現機序 | 中島 美紀 講師 (金沢大学 医薬保健研究域薬学系) |
| | 動態・代謝 (膜透過, 吸収, 分布, 代謝, 排泄) | 小澤 正吾 講師 (岩手医科大学 薬学部) |
| | トキシコキネティクス | |
| | 一般毒性試験, 実験動物 | 大久保 慎吾 講師 (武田薬品工業) (薬剤安全性研究所) |
| | 血液毒性 | 平林 容子 講師 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター) |
| | 免疫毒性 | 中村 和市 講師 (北里大学 獣医学部) |
| | 消化器毒性, 肝毒性 | 尾崎 清和 講師 (摂南大学薬学部病理学研究室) |
| | 腎・泌尿器毒性 | 村上 雄一 講師 (Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社非臨床安全性研究) |
| | 呼吸器毒性 | 佐藤 洋 講師 (岩手大学 農学部) |
| | 神経行動毒性, 運動器毒性, 感覚器毒性 | 義澤 克彦 講師 (武庫川女子大学 生活環境学部) |
| | 循環器毒性, 安全性薬理 | 田保 充康 講師 (中外製薬 研究本部 創薬 ADMET 研究部) |
| | 皮膚・粘膜毒性, 光毒性, 代替試験法 | 小島 肇 講師 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部) |
| | 生殖発生毒性, 生殖器毒性, 内分泌毒性 | 古川 賢 講師 (日産化学 生物科学研究所) |
| | 遺伝毒性 | 杉山 圭一 講師 (国立医薬品食品衛生研究所 変異遺伝部) |
| | 発がん性 | 魏 民 講師 (大阪市立大学大学院 医学研究科) |
| | 統計学 | 渡邊 真弓 講師 (第一三共 安全性研究所) |
| | 環境毒性 | 石塚 真由美 講師 (北海道大学大学院 獣医学研究院) |
| | リスクアセスメント・ リスクマネージメント | 井上 薫 講師 (国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部第一室) |
| | 臨床中毒学 | 沼澤 聡 講師 (昭和大学 薬学部) |
| 資料のみ | 化学物質の有害作用, 安全性評価・管理 | 橋本 清弘 講師 (武田薬品工業リサーチ薬剤安全性研究所) |
| | 毒性オミクス | 山田 弘 講師 (医薬基盤・健康・栄養研究所) |

第23回日本毒性学会認定トキシコロジスト 新規認定者

第23回認定トキシコロジスト認定試験を、2020年9月27日に昭和大学 旗の台キャンパスで行いました。その結果、所定の書類審査に合格し、試験問題総数200問の試験において140点以上の得点を獲得し、新たに認定トキシコロジストと認められた受験者は次の27名でした。

おめでとうございます。

なお、受験者の総数は51名でした。

| | | |
|-------|-------|-------|
| 厚見 育代 | 小林 亮介 | 野中 聖子 |
| 池田 圭吾 | 齋木 翔太 | 浜村 えり |
| 石黒 司 | 齋藤 光芳 | 平田 朗 |
| 上野 友也 | 田原 春菜 | 北條 幹 |
| 小川 峻志 | 田原 宥 | 松村 一史 |
| 寒川 彰久 | 内藤 崇 | 山内 敦子 |
| 桐畑 佑香 | 中島 直弓 | 山口 晃輝 |
| 草深 穂高 | 中村 大地 | |
| 後藤 志麻 | 成毛 裕子 | |

(五十音順 敬称略)

2020年10月31日

一般社団法人日本毒性学会

理事長 菅野 純

教育委員会委員長 鈴木 睦

認定試験小委員会委員長 福島 民雄

第48回日本毒性学会学術年会のご案内 (第3報)

(年会ホームページ: <http://www.jsot2021.jp/>)

1. 会期

2021年7月7日(水)～7月9日(金)

2. 会場

神戸国際会議場

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1

TEL: 078-302-5200

URL: <https://kobe-cc.jp/ja/facilities/conference-center/>

神戸商工会議所・アリストンホテル

〒650-8543 神戸市中央区港島中町6-1

3. テーマ

Beyond the crisis - 生命の存続に貢献する毒性学

4. 年会長

福井 英夫 (Axcelead Drug Discovery Partners, Inc.)

5. 企画委員 (敬称略・五十音順)

朝倉 省二 (エーザイ (株))

石塚真由美 (北海道大学)

小川久美子 (国立医薬品食品衛生研究所)

小椋 康光 (千葉大学)

鍛冶 利幸 (東京理科大学)

菅野 純 (国立医薬品食品衛生研究所)

北嶋 聡 (国立医薬品食品衛生研究所)

熊谷 嘉人 (筑波大学)

小林 章男 (日本たばこ (株))

佐藤 雅彦 (愛知学院大学)

篠澤 忠紘 (武田薬品工業 (株))

渋谷 淳 (東京農工大学)

杉山 圭一 (国立医薬品食品衛生研究所)

鈴木 睦 (協和キリン (株))

角 大悟 (徳島文理大学)

高橋 祐次 (国立医薬品食品衛生研究所)

角崎 英志 (新日本科学 (株))

直田みゆき (医薬品医療機器総合機構)

栗形麻樹子 (国立医薬品食品衛生研究所)

広瀬 明彦 (国立医薬品食品衛生研究所)

堀井 郁夫 (ファイザー)

真木 一茂 (医薬品医療機器総合機構)

松本 清 (武田薬品工業 (株))

三島 雅之 (中外製薬 (株))

宮脇 出 (大日本住友製薬 (株))

森 和彦 (第一三共 (株))

山田 久陽 (大正製薬 (株))

吉岡 靖雄 (大阪大学)

吉成 浩一 (静岡県立大学)

6. 特別企画 (予定, 敬称略, 順不同)

1) 第18回市民公開セミナー

日時: 2021年7月10日(土) 午後(予定)

会場: 神戸芸術センター

(1) 西田 幸二 (大阪大学)

(2) 木下 芳一 (姫路循環器病センター)

2) 年会長招待講演

西田 幸二 (大阪大学)

3) 特別講演

(1) 柳沢 正史 (筑波大学)

(2) Nasir Khan (Pfizer, USA)

4) 教育講演

(1) 武部 貴則 (東京医科歯科大学)

(2) 児玉 龍彦 (東京大学)

(3) 瀬谷 司 (青森大学, 北海道大学)

(4) 武田 厚司 (静岡県立大学)

(5) 真鍋 淳 (第一三共 (株))

(6) David Woolley (ForthTox, Consultant, UK)

5) シンポジウム (30セッション)

・基礎発生学と先天異常学から学ぶ毒性エピジェネティクス 2.0

・日本実験動物学会合同シンポジウム: 毒性研究におけるヒト化動物の利用

・毒性機序の理解とリスク評価へ向けた化学物質センサー転写因子研究

・パンデミック感染症に対する医薬品の非臨床安全性評価 (COVID-19から学ぶ)

・生体金属部会シンポジウム ～メタロチオネイン機能の新たな展開～

・実験動物としてのサルを考えるーバイオ医薬品の種差とヒト予測ー

・薬剤性痙攣のリスク評価

・遺伝毒性リスク評価の新たな胎動ーゲノム不安定リスク研究の夜明けー

・遺伝子治療用製品の安全性評価と今後の展望

・感染症の予防と治療における生殖発生毒性

・化学物質の安全性評価にかかわるAIとインフォマティクス

・ヒトES細胞/iPS細胞を用いた毒性データベースによる毒性評価

・腎毒性を考えるー臨床薬剤師, 基礎研究の立場からー

- ・日本毒性病理学会合同シンポジウム：毒性病理学会からのトピック－化学物質の安全性評価に向けた機序解明アプローチ
 - ・子供の毒性学：脳の発達を中心に
 - ・2035年の医薬品安全性評価－動物実験代替法を考える
 - ・事例報告“非臨床で見られた毒性の臨床への予測性”
 - ・New insights of in vivo safety assessment strategy for drug-induced cardiac functional change: 薬物誘発性の心機能変化に向けたin vivo 安全性評価戦略に関する新展開
 - ・医薬品における Computational Toxicology の普及：Ontology 思考下でのシステム構築の事例報告
 - ・日本癌学会合同シンポジウム：発がん性評価法の分子背景と展望－エピゲノム、変異シグネチャーから見たヒト外挿考察－
 - ・世界を取り巻く農薬リスク評価の最新事情
 - ・xenobiotics 代謝と解毒の動物種差
 - ・日本免疫毒性学会合同シンポジウム：多様な医薬品モダリティに対応する免疫毒性研究の最前線
 - ・日本中毒学会合同シンポジウム：海産毒リビジョン3.0
 - ・次世代研究セミナー：マイクロバイオームの最先端
 - ・再生医療等製品に関する毒性評価
 - ・肺毒性の分子背景
 - ・毒性オミクスにおけるエピジェネティクス情報を加えた人工知能解析
 - ・SOT 合同シンポジウム
 - ・American College of Toxicology 合同シンポジウム
- 6) ワークショップ (6セッション)
- ・消化管毒性評価の新展開
 - ・トキシコロジストがんサバイバーによる体験報告
 - ・癌薬物療法における薬剤性副作用のサイエンスと支持療法
 - ・新毒性質問箱：医薬品開発者とPMDAで対話をはじめよう
 - ・限定エクスポソームの新たな展開
 - ・GLP業務の「New normal」の展望
- 7) トキシコロジストのキャリア形成支援プログラム

7. 一般演題募集

- 1) 一般演題（口演およびポスターでの発表）を2021年1月20日（水）から受け付ける予定です。主発表者（プレゼンター）は本学会会員に限りますので非会員の方は、日本毒性学会事務局にて入会の手続きをお願いします。
日本毒性学会ホームページ：<http://www.jsot.jp>
なお、ポスターとスライド作成は、原則英語となります。
- 2) 演題登録はインターネットを利用したオンライン登録のみです。下記8に記載する「演題登録要領」を参照の上、年会ホームページから登録して下さい。

演題申込開始日：

2021年1月20日（水）（予定）

演題申込締切日：

2021年3月5日（金）（予定）

- 3) 一般演題は口演またはポスター発表とします。口演発表につきましては、発表と討論の時間を合わせて10～15分程度を予定しています。詳細は、演題申込数を考慮の上できるだけ早い時期にお知らせいたしますので、ホームページなどで随時ご確認下さい。発表方法は液晶プロジェクターのみです。ポスター発表は、毎日貼替えでポスター展示を行い、途中で質疑応答時間を設けます。
- 4) 優秀研究発表賞応募演題
2021年3月31日時点で35歳以下の方を対象として候補者を募集します。
応募者は演題申込時にその旨登録して下さい。応募者はポスター発表に加え、別会場で口頭発表と質疑応答を第1日目（7月7日（水））に行っていただきます。受賞者の発表は、第2日目（7月8日（木））に行います。授賞式等詳細は、年会ホームページにて追ってご案内いたします。受賞者には、賞状と副賞を授与します。
- 5) 学生ポスター発表賞応募演題
学術年会（2021年7月7日（水））の時点で学生（大学院生を含む、ただし社会人大学院生は除く）のポスター発表（筆頭著者）の方を対象とします。
応募者は演題申込時にその旨登録して下さい。審査はポスター発表内容のみで行います。対象のポスターは第1日目（7月7日（水））に掲示し、受賞者の発表は、第2日目（7月8日（木））に行います。授賞式等詳細は、年会ホームページ

にて追ってご案内いたします。受賞者には、賞状と副賞を授与します。

※上記, 4), 5) の賞への重複申請は不可とします。

8. 演題登録要領

演題登録はインターネットを利用したオンライン登録のみです。締め切り間際はアクセス集中によりサーバー処理能力が極端に低下します。そのため、登録に時間を要する、あるいは登録が完了できないといった事態が生じることが予測されますので、演題募集要領と年会ホームページを熟読した上で、余裕をもって登録して下さい。

◆登録方法ならびに登録確認・訂正◆

年会ホームページにアクセスし、演題募集のメニューより案内に従って、次の流れのように登録を進めて下さい。なお、演題登録は発表者本人が行って下さい。発表者個人情報登録→一般演題登録→共著者・演題情報登録→登録内容確認→登録完了

- 1) 発表者個人情報登録

発表者は本学会会員に限ります。登録には会員番号(5桁)が必要です。
パスワード(半角英数)は登録内容の確認や変更を行うときに使用します。4文字以上10文字以内で入力して下さい。なお、パスワードはメニューページの「パスワードを変更する」より変更することが可能です。入力したパスワードは各自で大切に記録・保管して下さい。
- 2) 共著者・演題情報登録
 - 2-1) 共著者情報登録

共著者の氏名・所属を入力して下さい。
共著者数は最大20名、所属機関名は最大15施設まで登録可能です。
 - 2-2) 演題カテゴリー登録

詳細については、年会ホームページにて追ってご案内いたします。
 - 2-3) 発表形式

発表形式を「口演」、「ポスター」、「どちらでも可」の中から選択して下さい。優秀研究発表賞もしくは学生ポスター発表賞に応募する場合は「ポスター」を選択して下さい。
優秀研究発表賞もしくは学生ポスター発表賞への応募の有無を選択して下さい。
 - 2-4) 演題名

文字数について、登録ページの入力欄には、文字数制限がありません。下記を目処にお

願います。

日本語演題名 文字数：

最大全角80文字(スペース含め)

英語演題名 文字数：

最大半角200文字(スペース含め)

なお、演題名に特殊文字/上付き/下付き/ボールド/イタリックなどの文字を含む場合には、下記ページのHTMLタグを使用し、入力して下さい。

ただし、このHTMLタグは、上記文字数にはカウントしません。

(<タグ一覧/特殊文字一覧/よく使用する特殊文字ページ)

http://www.senkyo.co.jp/tag/ja/tag_list.html

2-5) 要旨作成要領

日本語及び英語の要旨のご提出をお願いしております。本文の文字数は、日本語：全角として800字以内、英語：半角として600字以内(スペース含む)です。上記文字数を超えると登録できませんので、ご注意下さい。本文中に演題名・所属・氏名・図表等を入れないで下さい。

3) 登録内容確認・訂正

登録の最後に登録情報の確認画面が表示されますので、内容を確認・訂正して下さい。後日改めて確認・訂正を行う場合は、登録時に入力したパスワードを用いて確認・訂正画面を表示させることができます。

4) 登録完了

登録が完了すると演題登録番号が表示されます。登録したメールアドレス宛てに演題登録完了メールが送信されますので確認して下さい。翌日まで経過してもメールが届かない場合は事務局までご連絡下さい。

9. 参加登録および参加費

事前参加申込開始日：

2021年1月20日(水)

事前参加申込締切日：

2021年5月10日(月)(予定)

1) 参加費

※学会会員の参加費は「不課税」、関連学会会員、非会員の参加費と懇親会費は「課税(消費税込)」となります。

| カテゴリー | 事前参加 登録 (早期)* ¹ | 事前参加 登録 (後期)* ² | 当日参加 登録 |
|-----------------------|----------------------------------|----------------------------------|------------|
| 会員 | 12,000 円 | 14,000 円 | 16,000 円 |
| 学生会員 | 3,000 円 | 4,000 円 | 5,000 円 |
| 関連学会会員 * ³ | 13,000 円 | 15,000 円 | 17,000 円 |
| 非会員 | 15,000 円 | 17,000 円 | 19,000 円 |
| 懇親会費 (一般) | 10,000 円 | 11,000 円 | 12,000 円 |
| 懇親会費 (学生) | 4,000 円 | 5,000 円 | 5,000 円 |

- * 1 2021 年 3 月 31 日 (水) まで
- * 2 2021 年 4 月 1 日 (木) から 5 月 10 日 (月) まで
- * 3 次の学会会員の方を予定しています。(50音順)

共催：日本中毒学会
日本毒性病理学会
日本免疫毒性学会
日本薬理学会
米国 SOT (Society of Toxicology)

協賛：日本安全性薬理研究会
日本医薬品情報学会
日本衛生学会
日本環境変異原学会
日本産業衛生学会
日本実験動物学会
日本獣医学会
日本食品衛生学会
日本食品化学学会
日本先天異常学会
日本動物実験代替法学会
環境ホルモン学会(日本内分泌攪乱化学物質学会)
日本薬学会
日本薬物動態学会

2) お支払い方法

- ・クレジットカード
- ※決済等の詳細については、年会ホームページにて追ってご案内いたします。

10. 懇親会

次の通り懇親会を開催いたしますので、是非ご参加下さい。

日時：2021 年 7 月 8 日 (木) 18:45 ~

場所：神戸ポートピアホテル

<https://www.portopia.co.jp/>

11. 展示, ランチョンセミナーなどの募集

展示, ランチョンセミナー, 広告掲載を募集します。詳細については年会ホームページをご覧ください。

12. 年会事務局

〒251-0012 神奈川県藤沢市村岡東二丁目 26 番地の 1
Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社
事務局長：大塚 博比古
事務局次長：吉田 唯真, 林 良太
E-mail：secretariat@jsot2021.jp

医薬品毒性機序研究部会主催 第3回 医薬品毒性機序研究会

この度、第3回研究会を2021年1月14日～15日にWebにて開催させていただくことになりました。医薬品毒性機序研究に関する事例、最新技術などについての情報収集の場として、是非ご参加していただきたくお願い申し上げます。特別講演、教育講演、シンポジウム、企業シンポジウムとポスター発表を予定しております。

「創薬を加速する機序研究」をテーマとしておりますが、関連する研究に限らない幅広い話題について、議論のできる会にしたいと思っております。一般演題はすでに他学会で発表済みの内容、研究途中の内容も歓迎します。更に深い議論の場としていただければ幸いです。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

会 期 2020年1月14日(木)～15日(金)
14日：9：00～18：00(予定)
15日：9：00～17：00(予定)

WEBでの開催

実行委員長 山田 久陽
(大正製薬株式会社 医薬事業部門)

テーマ 「創薬を加速する機序研究」

プログラム概要

◎特別講演

外来性化学物質(xenobiotics)により誘発される生体反応の分子機構解析と創薬加速
菅野 純(日本毒性学会理事長)

◎教育講演

医薬品安全性評価における毒作用発現機序解明の役割とその意義
堀井 郁夫(ファイザー)

◎シンポジウム(4セッション)

1. 医薬品開発と機序研究
2. 動態を考慮した毒性機序研究・毒性機序から考える代謝研究
3. 毒性機序研究に貢献する最新技術
4. 医薬品以外の毒性から学ぶ

◎企業企画シンポジウム(3セッション)

◎ポスター発表(若手優秀発表賞あり)

ポスター形式の一般演題を募集します。

(2～3分程度のフラッシュトークをお願いする予定です)

詳細は研究会ホームページをご覧ください。

<http://www.senkyo.co.jp/iyakudokuken/>

演題申込期間

2020年10月30日(金)～12月14日(月) 正午

参加登録

事前参加登録：

2020年10月30日(金)～12月16日(水)
一般 6,000円、学生 3,000円

事務局

大正製薬株式会社 総合研究所 安全性・動態研究所
安全性研究室 辻 暁司

〒331-9530 埼玉県さいたま市北区吉野町1-403

TEL：048-669-3035

E-mail: sa-tsuji@taisho.co.jp

プログラム(予定)

◎特別講演

外来性化学物質(xenobiotics)により誘発される生体反応の分子機構解析と創薬加速
菅野 純(日本毒性学会理事長)

◎教育講演

医薬品安全性評価における毒作用発現機序解明の役割とその意義

堀井 郁夫 (ファイザー)

◎シンポジウム (4 セッション)

1. 医薬品開発と機序研究

・ラット毒性試験でみられた肺毒性の機序検討および軽減の試み

佐山 絢子 (第一三共)

・遺伝毒性誘発メカニズムに基づくヒトリスク予測の事例紹介

武藤 重治 (田辺三菱製薬)

・最適化段階における胚・胎児発生毒性に関する機序研究の事例

伊佐治 優希 (小野薬品工業)

・医薬品による肝障害発症機序再考

横井 毅 (名古屋大学)

・医薬品による重症薬疹, 間質性肺炎の発症機序

斎藤 嘉朗 (国立衛研)

2. 動態を考慮した毒性機序研究・毒性機序から考える代謝研究

・ヒト肝臓における反応性代謝物キノニンミン体の生成を制御するメカニズム

深見 達基 (金沢大学)

・PXR 活性化の肝化学発がんへの影響の理解と機序解明

志津 怜太 (静岡県立大学)

・トランスポーター介在性 DIKI の検出を目指した in vitro 評価系の構築

荒川 大 (金沢大学)

・代謝物を考慮したミトコンドリア毒性評価法

竹村 晃典 (千葉大学)

3. 毒性機序研究に貢献する最新技術

・FFPE プロテオミクスを用いた毒性解析
安藤 智広 (アクセリード)

・IMS (イメージング MS) の創薬への応用
渡辺 健一 (大日本住友)

・バイオ 3D プリンターで作製したヒト肝臓モデルの構築と毒性評価

前川 敏彦 (サイフューズ)

・HLA 遺伝子導入マウスの高感度特異体質性毒性評価
青木 重樹 (千葉大学)

4. 医薬品以外の毒性から学ぶ

・演題・演者検討中

◎企業企画シンポジウム (3 セッション)

◎ポスター発表 (若手優秀発表賞あり)

2021 年度日本毒性学会特別賞候補者推薦要領

社会における毒性学の認知度の向上, 発展, 充実に大きく貢献した非会員の研究者に日本毒性学会特別賞を授与する。

候補者の資格：日本毒性学会非学会員。

推薦者の資格：日本毒性学会理事 1 名。

表彰：授賞者数は毎年, 最大 1 名とし, 賞状および副賞を授与する。授賞式は日本毒性学会学術年会の総会終了後に行う。

受賞講演：受賞者（或いは代理人）は日本毒性学会学術年会にて受賞講演を行う。

候補者の推薦：推薦者は, 受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し, 日本毒性学会理事長宛（事務局）に電子メールで提出する。

- ・推薦書（候補者氏名, 授賞タイトルを所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（1,000 字以内）
- ・特別賞の対象となる業績目録：原著論文, 総説・著書, 主催, 発表等

推薦書類の送付先：jsotq@jsot.jp
（日本毒性学会事務局）

推薦締切：2020 年 12 月 31 日（木）

2021 年度日本毒性学会学会賞候補者推薦要領

毒性学に関連する顕著な研究業績をあげ、かつ日本毒性学会の発展充実に大きく貢献した本会会員に日本毒性学会学会賞を授与する。

候補者の資格：現に 10 年以上継続して日本毒性学会の会員であり、授賞年度の 4 月 1 日に満 65 歳以下である者。ただし、推薦される研究課題で既に他学会等の賞を受けている者は対象とならない。

推薦者の資格：日本毒性学会評議員 1 名。

表彰：授賞者数は毎年 1 名とし、賞状および副賞を授与する。授賞式は 2021 年度の日本毒性学会学術年会の総会終了後に行う。

受賞講演：受賞者は 2021 年度の日本毒性学会学術年會にて受賞講演を行う。

候補者の推薦：推薦者は、受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し、日本毒性学会理事長宛（事務局）に電子メールで提出する。なお、所定用紙（Word ファイル）は日本毒性学会ホームページ（<http://www.jsot.jp/award/index.html>）からダウンロードして使用すること。

- ・推薦書（候補者氏名、略歴、会員歴等を所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（2000 字以内）
- ・学会賞の対象となる業績目録：原著論文（J.Toxicol. Sci. 掲載論文に丸印を付ける）、総説・著書
- ・過去 5 年間に日本毒性学会学術年會で発表した一般講演演題リスト（共同著者となっている演題を含む）

推薦書類の送付先：jsotqh@jsot.jp
（日本毒性学会事務局）

推薦締切：2020 年 12 月 31 日（木）

2021 年度日本毒性学会奨励賞候補者推薦要領

毒性学に関する研究において独創的な研究業績をあげつつあり、将来が期待される本会会員に日本毒性学会奨励賞を授与する。

候補者の資格：現に 3 年以上継続して日本毒性学会の会員であり、授賞年度の 4 月 1 日に満 40 歳以下である者。ただし、推薦される研究課題で既に他学会等の賞を受けている者は対象とならない。

推薦者の資格：日本毒性学会評議員 1 名。

表彰：授賞者数は毎年 3 名以内とし、賞状および副賞を授与する。授賞式は 2021 年度の日本毒性学会学術年會の総会終了後に行う。

受賞講演：受賞者は 2021 年度の日本毒性学会学術年會にて受賞講演を行う。

候補者の推薦：推薦者は、受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し、日本毒性学会理事長宛（事務局）に電子メールで提出する。なお、所定用紙（Word ファイル）は日本毒性学会ホームページ（<http://www.jsot.jp/award/encourage.html>）からダウンロードして使用すること。

- ・推薦書（候補者氏名、略歴、会員歴等を所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（2000 字以内）
- ・奨励賞の対象となる業績の目録：原著論文（J.Toxicol. Sci. 掲載論文に丸印を付ける）、総説・著書
- ・過去 3 年間に日本毒性学会学術年會で発表した一般講演演題リスト（共同著者となっている演題を含む）

推薦書類の送付先：jsotqh@jsot.jp
（日本毒性学会事務局）

推薦締切：2020 年 12 月 31 日（木）

2021 年度日本毒性学会佐藤哲男賞（国際貢献賞） 候補者推薦要領

毒性学に関連する研究、後進の育成を含めた毒性学教育と共に、毒性学分野における国際活動において優れた貢献を果たした本会会員に日本毒性学会佐藤哲男賞（国際貢献賞）を授与する。

候補者の資格：現に 10 年以上継続して日本毒性学会の会員であるもの。

推薦者の資格：日本毒性学会評議員 1 名。

表彰：授賞者数は毎年、最大 1 名とし、賞状および副賞を授与する。授賞式は 2021 年度日本毒性学会学術年会の総会終了後に行う。

受賞講演：受賞者（或いは代理人）は 2021 年度日本毒性学会学術年会にて受賞講演を行う。

〈備考〉

一般社団法人日本毒性学会 佐藤哲男賞（国際貢献賞）選考規程

平成 31 年 1 月 25 日 制定
令和 2 年 12 月 9 日 改定

- 第 1 条 設置：日本毒性学会は、本会における佐藤哲男博士の国際的及び学術的貢献に敬意を表し、佐藤哲男賞（国際貢献賞）を設ける。
- 第 2 条 授賞の対象：毒性学に関連する研究、後進の育成を含めた毒性学教育と共に毒性学分野における国際活動において優れた貢献を果たした本会会員に授与する。
- 第 3 条 候補者の資格及び推薦条件：現に 10 年以上継続して日本毒性学会の会員であるもの。
- 第 4 条 表彰：授賞者数は毎年 1 名とし、賞状および副賞を授与する。授賞式は当該年度の日本毒性学会学術年会の総会にて行う。
- 第 5 条 受賞講演：受賞者は当該年度の日本毒性学会学術年会にて受賞講演を行う。
- 第 6 条 候補者の推薦：評議員 1 名の推薦を必要とする。推薦者は、授賞候補者に関する所定書類を日本毒性学会理事長（事務局）に 12 月 31 日までに提出する。
1. 推薦書（候補者氏名、略歴、会員歴、本会における委員等の職歴等を所定の用紙に記入したもの）
 2. 推薦理由（1,000 字以内）
 3. 当賞の対象となる業績目録：原著論文（J. Toxicol. Sci. または Fundam. Toxicol. Sci. に掲載された論文に丸印を付ける）、総説・著書、依頼・招待講演（毒性学教育に関するものに限る、日本毒性学会学術年会で発表した演題には丸印を付ける）

候補者の推薦：推薦者は、受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し、日本毒性学会理事長宛（事務局）に電子メールで提出する。

- ・推薦書（候補者氏名、授賞タイトルを所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（1,000 字以内）
- ・佐藤哲男賞の対象となる業績目録：原著論文、総説・著書、主催、発表等

推薦書類の送付先：jsotthq@jsot.jp
（日本毒性学会事務局）

推薦締切：2020 年 12 月 31 日（木）*

*：締切の延長が必要な場合は事務局にご相談ください。

4. 過去 5 年間に日本毒性学会学術年会で発表した一般講演演題リスト（共同著者となっている演題を含む）

第 7 条 選考：

1. 当賞の選考は、佐藤哲男賞（国際貢献賞）・学会貢献賞選考小委員会が行う。
2. 選考小委員会委員長は理事長と学術広報委員長が協議の上指名し、委員は学術広報委員長と小委員会委員長が協議の上、指名する。委員長および委員の任期は 1 年とし、再任はさまたげない。
3. 選考小委員会委員長及あるいは選考委員が候補者と同一の講座（大学以外の機関はこれに準ずる部局）に所属する場合、受賞者決定の採決には加わらないものとする。
4. 選考小委員会は授賞者を選定し、選考委員長は、該当者なしの場合を含めて学術広報委員長及び理事長に報告する。
5. 選考方法等に関する申し合せは別途定める。

付 則 令和 2 年 12 月 9 日改定の本規定は同日から施行する。
付 記 令和 2 年度に限り、佐藤哲男賞（国際貢献賞）・学会貢献賞選考小委員会を佐藤哲男賞選考委員会と読み替える。

2021 年度日本毒性学会学会貢献賞 候補者推薦要領

日本毒性学会への長年の貢献により発展充実に大きく寄与した本会会員に授与する。

候補者の資格：現に20年以上継続して日本毒性学会の会員であるもの。

推薦者の資格：日本毒性学会評議員1名。

表彰：授賞者数は毎年、最大1名とし、賞状および副賞を授与する。授賞式は2021年度日本毒性学会学術年会の総会終了後に行う。

候補者の推薦：評議員1名の推薦を必要とする。推薦者は、授賞候補者に関する所定書類を日本毒性学会理事長（事務局）に電子メールで提出する。

- ・推薦書（候補者氏名、略歴、会員歴、本会における委員等の職歴等を所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（2,000字以内）
- ・学会貢献賞の対象となる業績目録：学会の活動に貢献した具体的な業績

推薦書類の送付先：jsotq@jsot.jp
（日本毒性学会事務局）

推薦締切：2020年12月31日（木）*

*：締切の延長が必要な場合は事務局にご相談ください。

〈備考〉

一般社団法人日本毒性学会 学会貢献賞 選考規程

令和2年12月9日 制定

第1条 設置：日本毒性学会は、本会における学会活動の貢献に敬意を表し、学会貢献賞を設ける。

第2条 授賞の対象：日本毒性学会の発展充実に大きく貢献した本会会員に授与する。

第3条 候補者の資格及び推薦条件：現に20年以上継続して日本毒性学会の会員であるもの。

第4条 表彰：授賞者数は毎年1名、賞状および副賞を授与する。授賞式は当該年度の日本毒性学会学術年会の総会にて行う。

第5条 候補者の推薦：評議員1名の推薦を必要とする。推薦者は、授賞候補者に関する所定書類を日本毒性学会理事長（事務局）に12月31日までに提出する。

1. 推薦書（候補者氏名、略歴、会員歴、本会における委員等の職歴等を所定の用紙に記入したもの）
2. 推薦理由（2,000字以内）
3. 学会貢献賞の対象となる業績目録：学会の活動に貢献した具体的な業績

第6条 選考：

1. 学会貢献賞の選考は、佐藤哲男賞（国際貢献賞）・学会貢献賞選考小委員会が行う。

2. 選考小委員会委員長は理事長と学術広報委員長が協議の上指名し、委員は学術広報委員長と小委員会委員長が協議の上、指名する。委員長および委員の任期は1年とし、再任はさまたげない。

3. 選考小委員会委員長及あるいは選考委員が候補者と同一の講座（大学以外の機関はこれに準ずる部局）に所属する場合、受賞者決定の採決には加わらないものとする。

4. 選考小委員会は授賞者を選定し、選考委員長は、該当者なしの場合を含めて学術広報委員長及び理事長に報告する。

5. 選考方法等に関する申し合せは別途定める。

付則 令和2年12月9日制定の本規程は同日から施行する。

付記 令和2年度に限り、佐藤哲男賞（国際貢献賞）・学会貢献賞選考小委員会を佐藤哲男賞選考委員会と読み替える。

第 47 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について

第 47 回日本毒性学会学術年会の要旨集を 1 部 3,500 円（税・送料込）で販売します。ご希望の方は郵便局に備付けの郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、下記口座までお振り込み下さい。ご納入確認後、要旨集を発送致します。

なお、学術年会（第 32 回以降）の要旨はオンライン（J-STAGE）でも閲覧が可能です（<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/toxp/-char/ja>）。

| | |
|----------|----------------|
| 振込先：口座番号 | 00150-9-426831 |
| 加入者名 | 一般社団法人日本毒性学会 |
| 要旨集価格 | 3,500 円（1 部） |

通信欄記入事項：①住所 ②氏名（団体の場合は機関名・部署等）③電話番号
④第 47 回学術年会要旨集希望の旨

※通信欄のご記入住所へ送本致します。詳細なご記入をお願い致します。

問い合わせ先：日本毒性学会事務局
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
パレスサイドビル
株式会社毎日学術フォーラム内
TEL：03-6267-4550 FAX：03-6267-4555
E-mail：jsotq@jsot.jp

毒性学ニュース索引 (45 卷)

毒性学ニュース索引 (45 巻)

日本毒性学会からのお知らせ

| | | |
|--|-------|---------------------------|
| 第 47 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 4 報) | No. 1 | 1 |
| 第 47 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 5 報) | No. 2 | 17 |
| 第 47 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 6 報) | No. 3 | 36 |
| 第 48 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 1 報) | No. 4 | 52 |
| 第 48 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 2 報) | No. 5 | 87 |
| 第 48 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 3 報) | No. 6 | 101 |
| 第 47 回日本毒性学会学術年会報告 | No. 5 | 84 |
| 第 23 回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験 | No. 3 | 30 / No. 4 44 |
| 第 23 回日本毒性学会認定トキシコロジスト新規認定者 | No. 6 | 100 |
| 第 24 回日本毒性学会基礎教育講習会 | No. 6 | 99 |
| 第 46 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について | No. 1 | 11 / No. 2 21 / No. 3 39 |
| 第 47 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について | No. 4 | 56 / No. 5 86 / No. 6 111 |
| 2020 年度一般社団法人日本毒性学会 評議員会・社員総会報告 | No. 5 | 58 |
| 2020 年度年会費の納入のお願い | No. 3 | 23 |
| 2021 年度日本毒性学会特別賞候補者推薦要領 | No. 4 | 53 / No. 5 89 / No. 6 107 |
| 2021 年度日本毒性学会学会賞候補者推薦要領 | No. 4 | 54 / No. 5 90 / No. 6 108 |
| 2021 年度日本毒性学会奨励賞候補者推薦要領 | No. 4 | 54 / No. 5 90 / No. 6 108 |
| 2021 年度日本毒性学会佐藤哲男賞 (国際貢献賞) 候補者推薦要領 | No. 4 | 55 / No. 5 91 / No. 6 109 |
| 2021 年度日本毒性学会学会貢献賞候補者推薦要領 | No. 6 | 110 |
| 日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第 2 報) | No. 1 | 7 |
| 日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第 3 報) | No. 2 | 14 |
| 日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第 4 報) | No. 3 | 28 |
| 日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第 5 報) | No. 4 | 50 |
| 日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第 1 報) | No. 5 | 92 |
| 日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第 2 報) | No. 6 | 96 |
| 日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験願書 | No. 3 | 32 / No. 4 46 |
| 認定試験受験資格のための評点表 | No. 3 | 34 / No. 4 48 |
| 米国毒性学会 (SOT) 教育コースへの派遣者公募 | No. 5 | 93 |
| 医薬品毒性機序研究部会主催 第 3 回 医薬品毒性機序研究会 | No. 6 | 105 |
| 社員総会開催のご案内と出欠票 (委任状) 提出のお願い | No. 1 | 12 / No. 2 13 |
| 社員総会開催のご案内と電磁的総会出欠 (委任状) 回答システムへのご登録のお願い | No. 3 | 27 |
| 理事長就任の御挨拶 | No. 4 | 41 |
| 菅野新体制への期待 | No. 4 | 42 |
| 日本毒性学会理事監事 | No. 5 | 57 |
| 日本毒性学会各種委員会委員長 | No. 5 | 57 |
| 学会貢献賞の創設, ならびに佐藤哲男賞の一部改訂のお知らせ | No. 6 | 95 |
| 「学会賞を受賞して」 渋谷 淳 | No. 5 | 75 |
| 「佐藤哲男賞 (学術貢献賞) を受賞して」 野村 護 | No. 5 | 76 |
| 「奨励賞を受賞して」 緒方文彦 | No. 5 | 77 |
| 「奨励賞を受賞して」 栗田尚佳 | No. 5 | 77 |
| 「奨励賞を受賞して」 平尾雅代 | No. 5 | 78 |
| 「田邊賞を受賞して」 篠田 陽 | No. 5 | 78 |
| 「田邊賞を受賞して」 笠原利彦 | No. 5 | 79 |
| 「田邊賞を受賞して」 生野達也 | No. 5 | 79 |
| 「田邊賞を受賞して」 磯部剛仁 | No. 5 | 80 |
| 「ファイザー賞を受賞して」 平田尚也 | No. 5 | 80 |
| 「ファイザー賞を受賞して」 中瀬古 (泉) 寛子 | No. 5 | 81 |
| 「ファイザー賞を受賞して」 三浦伸彦 | No. 5 | 81 |
| 「技術賞を受賞して」 生野達也 | No. 5 | 82 |
| 「技術賞を受賞して」 出口清香 | No. 5 | 82 |
| 「技術賞を受賞して」 山本裕介 | No. 5 | 83 |

その他のお知らせ

| | | |
|---------------------------|-------|----|
| 日本動物実験代替法学会第 33 回大会 | No. 3 | 40 |
|---------------------------|-------|----|

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

日本毒性学会の定款および規程類については、最新版が学会ホームページ (http://www.jsot.jp/about/rule_list.html) に掲載されています。

特に重要な変更があった場合は、毒性学ニュースで周知を図ることとします。

- 一般社団法人日本毒性学会 定款
- 一般社団法人日本毒性学会 評議員選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事・監事選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事および監事候補の選出に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 常置委員会共通規程
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉会員・功労会員推薦規程
- 一般社団法人日本毒性学会 入会規程
- 一般社団法人日本毒性学会 賛助会員に関する規程
- 一般社団法人日本毒性学会 特別賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 学会賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 佐藤哲男賞（学術貢献賞）選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 奨励賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 技術賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 田邊賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 ファイザー賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 日化協 LRI 賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの認定制度規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの資格更新に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉トキシコロジスト表彰に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 米国毒性学会教育コースへの学会員派遣に関する規程
- J. Toxicol. Sci. 投稿規程
- Fundam. Toxicol. Sci. 投稿規程
- 一般社団法人日本毒性学会 動物実験に関する指針
- 一般社団法人日本毒性学会 個人情報の適正な管理・利用等に関する基本方針
- 一般社団法人日本毒性学会 部会に関する規程

新しい発見を 変わらない品質で

私たち日本クレアは、生命のあらゆる可能性を探求し発展させる基盤として、動物愛護のグローバルな視点に立った世界最高品質の実験動物を提供して参ります。



マウス・ラット・マーモセット

● クローズドコロニー

マウス Jcl:ICR

ラット Jcl:SD, Jcl:Wistar
Br/Han:WIST@Jcl(GALAS)

● 近交種

マウス C3H/HeNjcl, C3H/HeJjcl*
C57BL/6Njcl, C57BL/6Jjcl*
BALB/cAjcl, BALB/cByJjcl*
FVB/Njcl, DBA/2Jjcl*, 129^{+Ter}/Svjcl

ラット F344/Jcl

● ハイブリッド系

マウス B6C3F1/Jcl, B6D2F1/Jcl
MCH(ICR)/Jcl (Multi Cross Hybrid)

● 疾患モデル

免疫不全モデル

マウス BALB/cAjcl-*nu*
C.B-17/Icr-*scid* Jcl
NOD/Shijic-*scid* Jcl
ALY[®]/NscJcl-*aly*

ラット F344/Njcl-*rnu*

1型糖尿病モデル

マウス NOD/Shijcl

2型糖尿病モデル

マウス KK/Tajcl, KK-A^y/Tajcl
BKS.Cg-*m*+/*Lepr^{db}*/Jcl*

ラット GK/Jcl, SDT/Jcl, SDT fatty/Jcl

アスコルビン酸合成能欠如モデル

ラット ODS/Shijcl-*od*

● 疾患モデル

網膜変性疾患モデル

ラット RCS/Jcl-*rdy*

関節リウマチモデル

マウス SKG/Jcl

外用保湿剤・外用殺菌消毒薬効果検証モデル

マウス NOA/Jcl

● 遺伝子改変動物

短期発ガン性試験モデル

マウス CByB6F1-Tg (HRAS)2Jic

乳腺がん高感受性モデル

ラット Hras128/Jcl

膵がん短期発ガンモデル

ラット Kras301/Jcl

生体恒常性維持機構解析モデル

マウス α -Klotho KO/Jcl

マウス *klotho*/Jcl

アレルギーモデル

マウス OVA-IgE/Jcl (卵アレルギー)
TNP-IgE/Jcl (化学物質アレルギー)

● Germ free

マウス MCH(ICR)/Jcl [Gf], C57BL/6Njcl [Gf]
BALB/cAjcl [Gf]

● コモンマーモセット

Jcl:C.Marmoset(Jic) (国内生産)

その他の取り扱い動物

● (公財) 実験動物中央研究所維持系統

● フェレット (輸入販売)

生産地：中華人民共和国／輸入販売代理店
(株)野村事務所を通じて国内販売

実験動物用飼料

一般動物用飼料／家畜・家禽試験用飼料／放射線
滅菌飼料／特殊配合飼料／成分分析

器具・器材

飼育ケージ／飼育機・ラック／自動飼育システム／
クリーンエアシステム／バイオハザード対策システム
／空調設備・排水処理システム／管理 実験機器／
施設計画コンサルティング

受託業務

微生物学的クリーニング／遺伝子改変マウスの
作製／モノクローナル抗体作製／受精卵採取・
凍結処理／凍結受精卵の供給／系統維持及び生産
／各種処置動物作出／マイクロバイオーム研究の
サポート(無菌動物・ノトバイオームマウス作製および
受託試験)／各種受託試験 他

関連業務

動物輸出入／微生物モニタリング／遺伝モニタリング
／各種データ／情報サービス

業務提携

Physiogenex社(仏)：代謝性疾患領域に特化した薬効
薬理試験受託サービス
(株)ジーピーシー研究所：イメージングマウスの
作製サービス

* This substrain is at least (*a number*>20 by definition) generations removed from the originating JAX[®] Mice strain and has NOT been re-infused with pedigreed stock from The Jackson Laboratory. [®]



www.CLEA-Japan.com

東京 A D 部 〒153-8533 東京都目黒区東山1-2-7 TEL.03-5704-7050(代)
大阪 A D 部 〒564-0053 大阪府吹田市江の木町6-5 TEL.06-4861-7101(代)
【動物・飼料のご注文先: AD受注センター TEL.03-5704-7123】
東京器材部 〒153-8533 東京都目黒区東山1-2-7 TEL.03-5704-7600(代)
大阪器材部 〒564-9953 大阪府吹田市江の木町6-5 TEL.06-4861-7105(代)
札幌出張所 〒063-0849 札幌市西区八軒九条西10-4-28 TEL.011-631-2725(代)
仙台出張所 〒983-0014 仙台市宮城野区高砂1丁目30-24 TEL.022-352-4417(代)

医薬品開発をトータルにサポート

基礎検討試験

前臨床試験

臨床試験

薬物動態試験

- High Quality -

高品質なデータの提供

- Globalization -

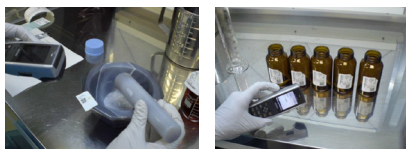
グローバルな事業展開

- Prompt Response -

迅速なサービスの提供

充実した支援体制

- AAALAC International (国際実験動物ケア評価認証協会) 認証
- FDA IND/NDA電子化申請対応 (CDISC SEND)
- バーコードによるミス防止システム
- 世界中どこからでも閲覧可能



Leica Aperio AT2



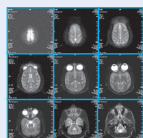
カニクイザル眼球HE染色

最新機種の導入

- MRI

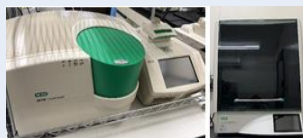


Siemens Allegra 3.0T



カニクイザル
頭部
(T2WI)

- デジタルPCR



QX200 AutoDG

- 超高感度
イムノアッセイ



SMC×PRO

お問い合わせ先

株式会社新日本科学

<https://www.snbl.co.jp/>

Email: info@snbl.co.jp

TEL: 03-5565-6140



ケー・イー・シーでは医薬品の研究・開発にお使いいただける細胞・ヒト由来試料を取扱っております

研究用試薬

▶ HepaRG®・初代肝細胞



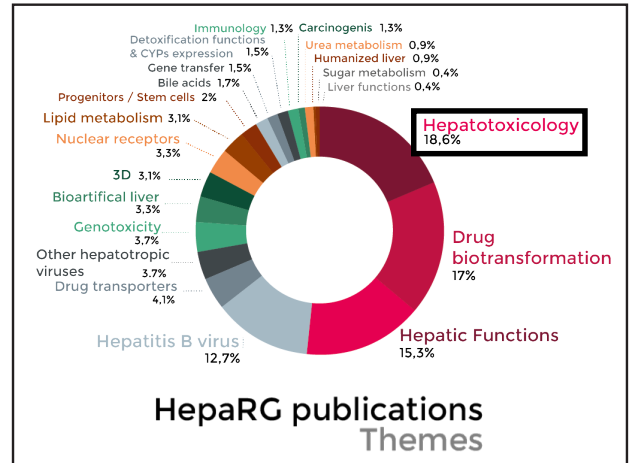
HepaRG®は、BIOPREDIC International社がライセンスを保有するヒト肝細胞セルラインです。肝細胞様形態を呈し、各種肝機能を保持・発現しており、ヒト初代肝細胞の代替ツールとして毒性試験および薬物動態などに広く利用されています。

【HepaRG®は様々な毒性評価に使用可能！】

- ①ミトコンドリア毒性の評価
- ②反応性代謝物による肝毒性評価
- ③炭水化物および脂質代謝評価
- ④胆汁うっ滞の評価

■ HepaRG®を使用した論文が多数発表されている中、毒性試験で多く使用されています！

また、弊社ではBIOPREDIC International社をはじめとして、様々なメーカーで調製された品質の良い初代肝細胞（ヒト、ラット、イヌ、サル等）もご用意しております。



▶ ECACC標準株細胞

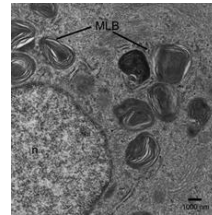
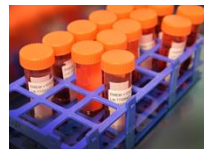


欧州最大の公的セルバンクであるECACCのセルリソース（標準株細胞）を、KAC独自のサービスとともに、**面倒な手続きなし***でお届けしています。

*：一部の細胞は、提供にあたり確認審査が必要になります。

【メリット！】

- ①スタンダードな株細胞は国内に常時在庫
- ②プラス5,000円で、培養状態での提供可能
- ③幾つかの起眠が難しい細胞はKACが代行
- ④KACによる迅速な技術サポート体制



▶ 肝毒性・腎毒性評価の受託試験



薬物トランスポーター研究のパイオニアであるSOLVO Biotechnology社にて、肝毒性・腎毒性評価試験などのサービスの提供も行っております。

【試験例】

- ①代謝が遅い化合物の肝毒性評価（ヒト、サル、ラット、イヌ）
（HepatoPac®：初代肝細胞と間質細胞のマイクロパターン共培養にて評価）
- ②早期腎障害バイオマーカーパネルを用いた腎毒性の可能性の評価 等



<https://www.saibou.jp/>

▶ これらの製品情報を細胞.jpでお調べ頂けます



株式会社 ケーイーシー

<https://www.kacnet.co.jp/>

お問い合わせ先

試薬事業部

TEL:06-6435-9747 FAX:06-6435-9748

e-mail: shiyaku-info@kacnet.co.jp

一般社団法人 日本毒性学会

[名誉会員]

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 今道 友則 | 堀口 俊一 | 福田 英臣 | 池田 正之 |
| 加藤 隆一 | 白須 泰彦 | 黒岩 幸雄 | 井村 伸正 |
| 佐藤 哲男 | 渡辺 民朗 | 高橋 道人 | 榎本 眞 |
| 小野寺 威 | 遠藤 仁 | 菅野 盛夫 | 黒川 雄二 |
| 鎌滝 哲也 | 赤堀 文昭 | 土井 邦雄 | 長尾 拓 |
| 福島 昭治 | 津田 修治 | 吉田 武美 | 堀井 郁夫 |
| 大野 泰雄 | 上野 光一 | 山添 康 | |

[功労会員]

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 高仲 正 | 前川 昭彦 | 佐藤 温重 | 安田 峯生 |
| 菊池 康基 | 大沢 基保 | 今井 清 | 降矢 強 |
| 玄番 宗一 | 唐木 英明 | 仮家 公夫 | 暮部 勝 |
| 野村 護 | 牧 栄二 | 三森 国敏 | 佐神 文郎 |
| 遠山 千春 | 小野寺博志 | 杉本 哲朗 | 西田 信之 |
| 中村 和市 | 永沼 章 | 姫野誠一郎 | 眞鍋 淳 |

[賛助会員]

(五十音順)

- ダイヤモンド
 - (株)新日本科学
- プラチナ
 - 第一三共 (株) Charles River
- ゴールド
 - 旭化成ファーマ (株) あすか製薬 (株)
 - アステラス製薬 (株) (株)安評センター
 - EA ファーマ (株) (株)イナリサーチ
 - エーザイ (株) (株)LSIメディアエンス
 - 大塚製薬 (株) 小野薬品工業 (株)
 - 花王 (株) 一般財団法人化学物質評価研究機構
 - 科研製薬 (株) 杏林製薬 (株)
 - 協和キリン (株) 興和 (株)
 - 三栄源エフ・エフ・アイ (株) サントリー MONOZUKURI エキスパート (株)
 - (株)三和化学研究所 塩野義製薬 (株)
 - (株)資生堂 シミックファーマサイエンス (株)
 - 昭和電工 (株) 住友化学 (株)
 - (一財) 生物科学安全研究所 セリア新薬工業 (株)
 - 千寿製薬 (株) 大正製薬 (株)
 - 大日本住友製薬 (株) 大鵬薬品工業 (株)
 - 武田薬品工業 (株) 田辺三菱製薬 (株)
 - 中外製薬 (株) 帝人ファーマ (株)
 - (株) DIMS 医学研究所 トーアエイヨー (株)
 - 東レ (株) (一社) 日本化学工業協会
 - 日本香料工業会 日本新薬 (株)
 - ファイザー (株) 富士フイルム (株)
 - 扶桑薬品工業 (株) (株)ボゾリサーチセンター
 - Meiji Seika ファルマ (株) 持田製薬 (株)
 - (株)薬物安全性試験センター ライオン (株)

[委員会] (2020 ~ 2021 年度)

| | | |
|-------------------------------------|--------|---------------|
| ●総務委員会 | 委員長 | 高橋 祐次 |
| ◆連携小委員会 | 委員長 | 北嶋 聡 |
| ◆評議員選考小委員会 | 委員長 | 佐藤 雅彦 |
| ◆名誉会員および功労会員選考委員会 | 委員長 | 高橋 祐次 |
| ◆指針値検討小委員会 | 委員長 | 広瀬 明彦 |
| ◆企画戦略小委員会 | 委員長 | 宮脇 出 |
| ●財務委員会 | 委員長 | 青木 豊彦 |
| | 副委員長 | 森 和彦 |
| ●編集委員会 | 委員長 | 鍛冶 利幸 |
| | 副委員長 | 古武弥一郎 |
| ◆JTS 編集委員会 | 委員長 | 鍛冶 利幸 |
| | 副委員長 | 古武弥一郎 |
| ◆FTS 編集委員会 | 委員長 | 永沼 章 |
| ◆Executive Editor 小委員会 | 委員長 | 永沼 章 |
| ◆田邊賞選考小委員会 | 委員長 | 諫田 泰成 |
| ●教育委員会 | 委員長 | 鈴木 睦 |
| ◆生涯教育小委員会 | 委員長 | 鈴木 睦 |
| ◆基礎講習会小委員会 | 委員長 | 高崎 渉 (10月まで) |
| | 委員長 | 橋本 清弘 (11月から) |
| ◆認定試験小委員会 | 委員長 | 古川 賢 (10月まで) |
| | 委員長 | 福島 民雄 (11月から) |
| | アドバイザー | 古川 賢 (11月から) |
| ●学術広報委員会 | 委員長 | 児玉 晃孝 |
| ◆学会賞等選考小委員会 | 委員長 | 堀井 郁夫 |
| ◆佐藤哲男賞選考小委員会 | 委員長 | 熊谷 嘉人 |
| ◆特別賞等選考小委員会 | 委員長 | 熊谷 嘉人 |
| ◆技術賞選考小委員会 | 委員長 | 宮脇 出 |
| ◆日化協 LRI 賞選考小委員会 | 委員長 | 北嶋 聡 |
| ◆学術小委員会 | 委員長 | 石塚真由美 |
| ◆広報小委員会・HP 担当 | 委員長 | 児玉 晃孝 |
| ★その他関連の委員会 | | |
| ○ IUTOX 担当 | | |
| IUTOX Executive Committee, Director | 熊谷 嘉人 | |
| IUTOX Nominating Committee, Chair | 菅野 純 | |
| ○ ASIATOX 担当 | | |
| ASIATOX Council | 小椋 康光 | |
| ○ 日本学術会議担当 | | |
| 委員 | 石塚真由美 | |

[役員] (2020 ~ 2021 年度)

| | | | |
|-----|-------|-------|-------|
| 理事長 | 菅野 純 | | |
| 理事 | 青木 豊彦 | 上原 孝 | 小野 敦 |
| | 鍛冶 利幸 | 北嶋 聡 | 熊谷 嘉人 |
| | 古武弥一郎 | 児玉 晃孝 | 小林 章男 |
| | 佐藤 雅彦 | 鈴木 睦 | 高橋 祐次 |
| | 角崎 英志 | 苗代 一郎 | 平林 容子 |
| | 藤原 泰之 | 宮脇 出 | 森 和彦 |
| | 吉成 浩一 | | |
| 監事 | 天野 幸紀 | | |
| | 務台 衛 | | |

[学術年会長]

第47回 (2020年) 広瀬 明彦
 第48回 (2021年) 福井 英夫
 第49回 (2022年) 石塚真由美
 第50回 (2023年) 北嶋 聡

2020年12月10日 印刷

2020年12月10日 発行

発行人 菅野 純

編集人 鍛冶利幸

発行所 一般社団法人日本毒性学会

学会事務局 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル

(株)毎日学術フォーラム

一般社団法人日本毒性学会事務局

TEL (03) 6267-4550 FAX (03) 6267-4555

E-mail : jsothq@jsot.jp

振替 00150-9-426831

<http://www.jsot.jp>

印刷所 株式会社仙台共同印刷

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町二丁目4-2

TEL (022) 236-7161